



1月 ちとせだより

2024. 1. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して、初めての年末年始となり、旅行や帰省等で空港や駅が賑わっている風景をよく目にしました。皆さんもご家族だけでなく親族とも楽しい一時を過ごすことができましたでしょうか。

また、たくさんのスポーツを見ることができるのもこの時期です。私自身がラグビーをしていたこともあって、年末年始は、高校や大学のラグビーをよく観戦しました。ワールドカップなどでだいぶメジャーになってきたスポーツですが、ルールは割と難しく、野球やサッカーに比べてわかりにくいスポーツかもしれません。そんなラグビーは、スポーツ界では人数をたくさん必要とする競技で、1チーム15人いなければいけません。「フォワード」と「バックス」と大きく2つに別れ、それぞれにも細かくポジションがあります。体格の大きな人や背の高い人、小さくて身動きが俊敏な人、キック力に長けている人、とにかく足の速い人など、15人には色々な役割があって、それぞれの個性が活かせるポジションが与えられています。

初めてラグビーを見た時、「同じチームでも身体の大きさも背の高さも、みんなバラバラだなあ」と思ったのが第一印象でした。実際やってみて、15人で1つのチームのため、1人だけが素晴らしい能力を持っていても試合には勝つことができず、体格の良い人ばかりでも、足が速い人ばかりでもチームとしては、力を発揮することができません。異なる力を持った仲間を互いに認め、尊重し、信じるのが、最も大切なスポーツなのです。

ラグビーを例えに挙げましたが、元々人間は、見た目から中身から全く同じ人はいません。思っていることや考えていること、得意なことや不得意なこと、好きなことや嫌いなこともみんなバラバラのはずです。このような違いは、人と関わっていく中で時に障害となり、排除しようとしがちですが、相手からも同様に映っているはずで、自分の感情に蓋をしてまで、協調することが良い訳ではありませんが、互いの違いを認め合えるような人として、今後も成長して欲しいと願い、新たな2024年の歩みを始めていきたいと思えます。

元日に石川県能登半島では震度7の地震が発生しました。正月ならではのテレビ番組も全てが緊急災害放送に切り替わり、「津波から避難するように！」とずっと呼びかけられていました。正月の穏やかな空気が一変しました。日々、災害に対しては迅速な行動ができるよう、過去の経験や教訓をもって、それぞれ準備がなされていると思いますが、被災地の方々にとっての驚きと恐怖は、計り知れないものだったでしょう。被害に遭われた皆様に平安と慰めが与えられますように。そして、一日も早い復旧復興をお祈りいたします。皆様もお祈りの中に加えていただければ幸いです。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

(エフェソ信徒への手紙 2章 17節)

1月主題 「なかまと ひびきあって」

聖句 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」

(ヨハネによる福音書 15章 5節)